

電子辞書を使う、電子辞書で遊ぶ、電子辞書で学ぶ

— 中国語電子辞書活用法 —

清原文代

一 取り上げる機種

学生が電子辞書を引いている様子を見てみると、単語を一つ入力して検索して終わりということがほとんどで、電子辞書ならではの便利な機能を使いこなしているとは言えない。電子辞書を買いたいという厚さ一センチはあるのかという説明書がついてきて、さまざまな機能が紹介されているが、私のような電子辞書オタクはさておき、まず読む気にはならないだろう。以下二〇〇八〜二〇〇九年にかけて発売された四機種の比較を行いつつ、中国語電子辞書の機能を紹介していく。取り上げる機種は表1のとおりである。表の配列はメーカー名の五十音順、以後メーカー名を

表1 メーカー名・機種名と
製品紹介の Web ページ

カシオ	XD-GF7350 http://casio.jp/exword/products/XD-GF7350/
キヤノン	wordtank V923 http://cweb.canon.jp/wordtank/lineup/wordtank/china/v923/
シャープ	PW-LT220 http://www.sharp.co.jp/papyrus/lineup/pw-lt220/
SII (セイコー インスツル)	SR-G9001 http://www.sii.co.jp/cp/products/english/srg9001/ 中国語辞書カード DC-A07CN http://www.sii.co.jp/cp/products/card/dca07cn/

以て各機種の略称とする。

カシオとキヤノンについては、今回レビューに取り上げた機種以外に収録辞書の構成を変えたエントリーモデルがそれぞれ存在する。シャープは電子辞書の新しいブランドBrainを立ち上げていているが、二〇〇九年八月現在まだ本格的な中国語辞書を内蔵した機種は発売されておらず、従来からのブランドであるPapyrusシリーズを取り上げた。SIIは近年中国語辞書を内蔵したモデルを発売しておらず、別売の中国語辞書カードを追加した形で調査を行った。

二 収録している中国語辞書・会話集

(一) 中国語辞書——中型の中日・日中+α

いずれの機種も中型の中日辞典・日中辞典を核として、複数の中国語辞書を収録している(表2)。中型の中日・日中辞典はキヤノンのみ講談社、あとは小学館のものを搭載している。

(1) 『現代漢語八百詞』が電子辞書に

キヤノンが定評のある『現代漢語八百詞』増訂本の日本語訳版『中国語文法用例辞典』を搭載したのが注目される。キヤノンは中国語の例文検索に対応しており、例文の

中の単語でも『現代漢語八百詞』を検索できるようになったのは中国語教員にとって朗報である。

(2) 日本語の干渉を越えるために——中中辞典・中英辞典
中国語中級以上のレベルを持つ日本語母語話者の場合、母語である日本語の干渉を受けずに引ける辞書として中中辞典・中英辞典が欲しい。

キヤノンの『現代漢語詞典』に収録されているのは一つ前の版であり、品詞表記を行うようになった第五版をぜひ収録してほしいところだ。

カシオの『現代漢語大詞典』の書籍版は現代中国語の辞書には珍しく部首画数配列であり、巻末に親文字の拼音索引はあるが、単語単位では拼音で検索できない。収録語数一〇万語余りという大部の辞書ゆえ、電子辞書を使って単語単位での拼音検索や手書き入力検索が可能になったことはありがたい。

(二) 中国語会話集

どの機種も旅行会話などを中心とした中国語会話集を収録している(表3)。カシオが方言会話集を収録しているのが目を引く。キヤノンは一つ前の機種であるV903では方言会話集を収録していたのだが、今回は収録していない。

表2 収録されている中国語辞書

	大型中日辞典	中日辞典・日中辞典	初級者向け中日辞典	文法・語彙
カシオ	中日大辞典 増訂第2版 (大修館書店)	中日辞典 第2版 日中辞典 第2版 (小学館)		
キャノン	中日大辞典 増訂第2版 (大修館書店)	中日辞典 第2版 日中辞典 (講談社)		中国語文法用例辞典 (東方書店) 中国語類義語活用辞典 (講談社、書籍版なし)
シャープ		中日辞典 第2版 日中辞典 第2版 (小学館)	はじめての 中国語学習辞典 (朝日出版社)	
SII		中日辞典 第2版 日中辞典 第2版 (小学館)		

	中中辞典	中英辞典・英中辞典	特定分野の 中日辞典・日中辞典	漢和辞典
カシオ	現代漢語大詞典 (上海辞書出版社)	漢英大辞典 第2版 (上海交通大学出版社) 英漢大詞典 第2版 (上海訳文出版社)	中国語新語ビジネス用語辞典 Ver. 2.2 (大修館書店) 日中パソコン用語辞典 (日経 BP 社) 日中英・電子技術用語対訳集 第2版 (日経 BP 社、書籍版なし) 日中英固有有名詞辞典 (日中 韓辞典研究所、書籍版なし)	新漢語林 (大修館書店)
キャノン	現代漢語詞典 第4版 2002年増補本 (商務印書館)	オックスフォード 英中・中英辞典 第3版ポケット版	現代中国語新語辞典 (講談社) 日中英・電子技術用語対訳集 第2版 (日経 BP 社、書籍版なし) 日本の文化としきたり事典 (日中対訳版) (講談社)	改訂新版 漢字源 JIS 第1～第4水準版 (学習研究社)
シャープ			中国語新語ビジネス用語辞典 Ver. 2.1 (大修館書店)	改訂新版 漢字源 JIS 第1～第4水準版 (学習研究社)
SII			中国語新語ビジネス用語辞典 Ver. 2.1 (大修館書店)	新漢語林 (大修館書店)

表3 収録されている会話集

	書名	発音の表記
カシオ	ひとり歩きの中国語自遊自在 (JTB パブリッシング)	拼音とカタカナ
	旅の指さし会話帳 中国語 (情報センター出版局)	カタカナ
	はじめての上海語 (明日香出版社)	上海語も普通話もカタカナ
	はじめての台湾語 (明日香出版社)	台湾語はカタカナ、普通話 は拼音
	はじめての広東語 (明日香出版社)	広東語のみで普通話との対照はなし。広東語はイェール式ローマ字とカタカナ
	Dr. PASSPORT (マイス)	なし
キヤノン	中国語会話パーフェクトブック (ベレ出版)	拼音
シャープ	ブルーガイド わがまま歩き旅行会話 中国語+英語 (実業之日本社)	カタカナと拼音
	必ず話せる 中国語入門 (主婦の友社)	カタカナと拼音
	ゼロからカンタン中国語 場面別スキット (旺文社)	なし
SII	ブルーガイド わがまま歩き旅行会話 中国語+英語 (実業之日本社)	カタカナと拼音

三 中国語音声

中国語音声聞けるのは電子辞書ならではの機能で、拼音と音声の関係がまだ十分定着していない初級レベルの学習者にとっては非常にありがたい機能である(表4)。

(一) カシオ——音声のないところも合成音声で読み上げ

カシオは人間の声を録音したもの以外にTTS(合成音声による読み上げ)を使って、辞書の例文など人間の声が収録されていない部分でも中国語音声聞くことができる。TTSによる読み上げは100%正しいとは限らないが、文単位でおおよその発音を聞くことができるため、初級者が例文に拼音表記のない辞書を利用する際の助けとなるだろう。音声が人間の声かTTSによる読み上げであるかは画面に表示が出る。

(二) キヤノン——豊富な見出し語音声&自分の声を

録音して模範音声と比較可能

キヤノンにはTTSはないので、辞書の例文を中国語で一気に入読み上げることができないが、『中日大辞典』の約一四万語+『講談社中日辞典』の七万二千語から音声を呼び出して、例文中のたいていの単語の発音を聞くことが可

表4 中国語音声機能

	辞書名	収録音声数	速度調節
カシオ	小学館 中日辞典 第2版 日中パソコン用語辞典 ひとり歩きの中国語 旅の指さし会話帳 Dr. PASSPORT 日本語→中国語版 はじめての上海語 はじめての台湾語 はじめての広東語	親字約13,500字、熟語約7,200語 見出し語約4,100語 約2,000例文(全例文) 約2,800項目 約350項目 上海語約650例文 中国語約650例文 台湾語約700例文 中国語約700例文 広東語約600例文	人間の声もTTS(合成音声)も5段階の速度調節可
キヤノン	講談社 中日辞典 第2版 中日大辞典 増訂第2版 中国語会話パーフェクトブック	約72,000語 約140,000語 中国語約3,200例文、日本語約3,200例文	速度調節なし
シャープ	小学館 中日辞典 第2版 わがまま歩き旅行会話 中国語+英語 必ず話せる中国語入門 ゼロからカンタン中国語 場面別スキット	親字約13,500字、熟語約8,000語 約1,100例文 735項目 64対話文	5段階の速度調節可
SII	小学館 中日辞典 第2版 わがまま歩き旅行会話 中国語+英語	親字約13,500字、熟語約72,000語 約1,100例文	速度調節なし

能だ。

またキヤノンは音声収録されているコンテンツにおいて、自分の声を録音し、模範音声と聞き比べることができる。録音ボタンを押すとまず模範音声再生される。次に自分で発音して録音を終了すると、模範音声↓自分の声の順に再生してくれる。

四 中国語の入力方法

(一) 拼音入力

いずれの機種も声調なしのアルファベットのみで検索可能であるが、声調をつけようとするとう入力方法が異なる(表5)。

(1) カシオ——声調は数字キーで

個人的には拼音の声調符号と数字の関係がしつかりわかっていれば、カシオの(1)が打鍵回数が少なく一番速いのではないかと思う。初級者の場合、声調符号からすぐ数字を思いつかないことがあるが、カシオは(2)の方法も使える。

(2) キヤノン——声調は四声キーで

キヤノンは四声と書いたキーがあるので入力方法はわかりやすいが、打鍵数が多くなること、そして声調符号をつ

表5 声調の入力方法

カシオ	(1) アルファベットで音節を入力した後に声調を表す数字を入力。 (例) hao シフトキー 3 (2) アルファベットで音節を入力した後にキーボードに埋め込まれた小さな液晶画面で声調符号を選ぶ。 (例) hao ˇ
キヤノン	声調をつけるアルファベットの直後で四声キーを声調を表す数字の数だけ打鍵。 (例) ha 四声キー 四声キー 四声キー 0
シャープ	声調をつけるアルファベットを、声調を表す数字+1回分打鍵。 (例) haaaao
SII	(1) 声調をつけるアルファベットの直後で“-”キーを声調を表す数字の数だけ打鍵。 (例) ha - - - 0 (2) アルファベットで音節を入力した後に“-”キーを声調を表す数字の数だけ打鍵。 (例) hao - - -

けるアルファベットの直後で四声キーを叩かねばならないことが気になる。初級者の場合、どこに声調符号をつけるかよく把握していない場合もあるし、またそれがわかっていてもうっかり音節を入れてしまった後に四声キーを叩くと、Egoといったような本来ありえない拼音が表示されてしまう上に、検索結果には声調を指定したことが反映されない。

(3) シャープ——声調は母音連打で

シャープも声調符号をつけるアルファベットの直後に打鍵をしなければならぬことから生じる問題はキヤノンと同様である。シャープの場合は独立した四声キーがなく、母音を打鍵することに、例えば a↓ā↓á↓à↓â↓ã↓ä↓å のように表示が変わっていく。打鍵回数がキヤノンより一回増えるが、同じキーを何度も押して文字を入力する携帯電話に慣れている若い世代には親しみやすい方法かもしれない。

(4) SII——声調符号をつける位置を電子辞書が判断
SIIはキヤノンと同様に声調を表す数字の回数分だけ声調をつけるためのキーを叩かねばならないが、声調符号をつけるアルファベットの直後で声調入力用のキーを叩いてもよいし、音節をすべて入力してから叩いてもよい。音節をすべて入力してから声調を入れてもきちんと正しい位置に声調符号をふつてくれる。

(二) 中国語手書き入力

紙の辞書の場合、拼音がわからないと部首画数引きや日本語の音訓を使った索引を使うことになる。部首画数引きは部首がどれであるかわからなかったり、画数の数え間違いという問題がある。日本語の音訓索引もその簡体字がどの日本漢字に相当するのかわからないという知識十その漢字の音訓を知っていなければならぬ。もちろんああでもないこうでもない根気よく辞書を引いていくうちに学ぶものもあるのだが、簡便さという点では漢字を見たまま書いていけばよい手書き入力したいへんありがたい機能だ。中国語手書き入力に対応しているのはS I Iを除く三機種だが、認識できる文字種に違いがある。

(1) カシオ——見出し語に括弧書きされていれば繁体字や異体字でも検索可

すべての字を試したわけではないが、簡体字だけでなく、中日辞典の見出し語に括弧書きされていれば、繁体字や異体字でも検索可能であった。

(2) キヤノン——手書き重視、漢字の他にアルファベットも

カシオと同様に、中日辞典の見出し語に括弧書きされていれば、簡体字だけでなく繁体字や異体字でも検索可能であった。

手書き入力というともつばら漢字の入力を想像するが、キヤノンは拼音入力の際にも手書き入力を使える。ただし声調符号付きのアルファベットを認識しないのは残念だ。これができるば教科書に書いてある拼音をそのまま手で書いて検索することができるのだが。

(3) シャープ——繁体字↓簡体字の変換テーブルを持っている？

簡体字だけでなく繁体字も入力可能だが、認識されたときには簡体字で表示される。どうやら内部に繁体字↓簡体字の変換テーブルを持っているらしい。一方見出し語に括弧書きされていても異体字では検索できなかった。異体字だけでなく、「密」のようなGB 2312に入っていない漢字も認識できないようだ。

五 電子辞書ならではの検索

(一) ワイルドカード検索

ワイルドカード検索というのは、単語の一部が不明なまま、つまりそこを任意の字として検索する機能である(表6)。例えば*と入力すれば、*で終わる単語が検索されてくる。Dibenと検索すれば、Diaoben、bieben、biji-ben等が検索されてくる。聞き取りで単語の一部しか聞き

表6 ワイルドカード検索機能

	拼音	漢字
カシオ	[?] がアルファベット1文字を表す。 [~] がアルファベット1文字以上任意の字数を表す。 逆引きに関しては専用の入力欄があるため、ワイルドカードを使わなくてもできる。	不可。 ただし、漢字を使った逆引きは専用の入力欄があるため検索可能。
キャノン	[?] がアルファベット1文字を表す。 [*] がアルファベット1文字以上任意の字数を表す。	[?] が漢字1文字を表す。 [*] が漢字1文字以上任意の字数を表す。
シャープ	[?] がアルファベット1文字を表す。ただし語頭に[?]を入力することはできない。 [~] がアルファベット1文字以上任意の字数を表す。	不可。
SII	[?] がアルファベット1文字を表す。 [*] がアルファベット1文字以上任意の字数を表す。	不可。

表7 “男”で終わる見出し語

小学館 中日辞典	“丁男” “儿男” “少男” “孝男”
講談社 中日辞典	“丁男” “儿男” “童男” “孝男”
中日大辞典	“次男” “大男” “丁男” “好男” “善宿男” “少男” “童男” “外男” “伟男” “孝男” “役男” “中男”
現代漢語詞典 第4版2002年増補本	“儿男” “少男”
現代漢語大詞典	“儿男” “大男” “小男” “少男” “处男” “绿女红男” “长男” “童男”

取れなかったときなどに役立つ機能だ。

ワイルドカード検索で遊ぶ——辞書の見出し語の中の「男女不平」等

ふと思いついてカシオとキャノンを使って、「男」と「女」で終わる単語を引いてみた。その結果は圧倒的に「女」で終わる単語が多い。

表7は各辞書の「男」で終わる見出し語の例だが、辞書によって随分収録語彙が異なっている。中でも『中日大辞典』が特異だが、これは『中日大辞典』が少し古い語彙まで含んでいるためである。

「男」で終わる単語は、約一〇万語の語彙を収録している『現代漢語大詞典』でも八つしか収録されていない。それに対して「女」で終わる単語が一〇三個検索されてくる。約一四万語の『中日大辞典』でも同じ傾向で、「男」で終わる単語は一〇二、「女」で終わる単語は一二〇で

ある。

検索されてきた語彙を見ているとすぐ気づくのは「男」「女」が対で使われるときは「大男大女」のように「男」が先に来るのが一般的であるから、「女」が後ろに来る例が多くなるということである。さらに「女」で終わる単語には「美女」「魔女」「妓女」といったような女性の外見、性質、属性などを表す形態素が「女」を修飾している例が目につく。男は女をさまざまに形容し分類してきたが、女は男をさまざまに形容し分類する言葉を持たなかつたのか、という考えが頭の中をかすめる。またこの差をもたらす原因として考えられることとしては、息子という意味の「男」という形態素の造語力と、娘という意味の「女」という形態素の造語力の差があるのではないかということである。同じく息子という意味を持つ「子」「儿」と「男」の棲み分けや、同じく娘という意味を持つ「娘」と「女」の棲み分けはどうなっているのだろうか、という疑問もわく。辞書に収録される時点で編纂者による語彙の取捨選択が行われているということを割り引いて考えなければならぬが、どうやら形態素としての「男」と「女」は平等ではなさそうな気がする。これらのことはすでに研究されていることかもしれないが、私は電子辞書をいじくっているうちに気がついて、あらためて辞書はおもしろいと感じた次第である。

(二) あいまい発音検索

SI-1だけが持っている機能である。拼音を入力したあとにスペルキーを押すと、紛れやすい音の候補を追加してくれる。例えば、*ninxiu*と入力してスペルキーを押すと、*ninxiu*に加えて *mingxin* や *mingxing* も候補として表示する。私が調査した結果では、スペルキーを押した際に同一と見なす音の候補は以下のとおりである。見ていただくわかるが、明らかに日本語を母語とする話者が苦手とする紛れやすい音である。

i - u	u - uo	ㄨ - ㄨㄛ	無気音 - 有気音
j - zh - z	q - ch - c	x - sh - s	
ji - ju	qi - qu	xi - xu	
zi - zu - ze	ci - cu - ce	si - su - se	

(三) ジャンプ機能

ジャンプ機能とは辞書の本文の中の単語をまた引き直す機能である。教員はよく「日中辞典を引いたら、必ず出てきた単語を中日辞典で引き直してから、中国語作文をしながら」と言うものだが、紙の中日辞典と日中辞典を机上に置いてあちらを見たりこちらを見たりするのは骨が折れる。この作業を劇的に楽にしてくれるのが電子辞書のジャンプ機能だ。各機種の操作法は表8のとおりである。

表8 ジャンプ機能

カシオ	<p>(1) ジャンプキーを押す。</p> <p>(2) 矢印キーで引きたい単語の語頭まで移動して決定ボタンを押す、あるいはスタイラスペンで語頭をタップして選択する。</p> <p>(3) 辞書名の一覧が表示されるので、引く辞書を選ぶ。ただし、辞書リストは固定（2回目からは前回選んだ辞書を選ぶという選択肢がキーボードに埋め込まれた手書き入力用液晶に表示される）。</p>
キヤノン	<p>(1) スタイラスペンで引きたい単語をすべてなぞって選択して、タップする。</p> <p>(2) 2分割画面で、上側画面がその単語を収録している辞書名一覧、下側画面が選んでいる辞書の語釈の冒頭部分が表示されるので、表示する辞書を選ぶ。</p>
シャープ	<p>(1) ジャンプキーを押す。</p> <p>(2) 矢印キーで引きたい単語の語頭まで移動して決定ボタンを押す。</p> <p>(3) さらにカーソルを語尾まで移動させて決定ボタンを押す。</p> <p>(4) その単語を収録している辞書名の一覧が表示されるので、引く辞書を選ぶ。</p>
SII	<p>(1) ジャンプキーを押す。</p> <p>(2) 矢印キーで引きたい単語の語頭まで移動して決定ボタンを押す。</p> <p>(3) 2分割画面で、上側画面がその単語を収録している辞書名一覧、下側画面が選んでいる辞書の語釈の冒頭部分が表示されるので、表示する辞書を選ぶ。</p>

カシオはその単語を収録していない辞書まで候補に出して、その中から学習者にどの辞書を引くかを選ばせるのは如何なものかと思う。キヤノンのペンでなぞってタップするだけという操作は私にとっては最も直感的でわかりやすい。シャープはジャンプのためのキー操作方法が画面上部に表示されるのは親切だが、二文字以上の単語の場合、語頭と語尾を選択するために二回決定ボタンを押さなければならぬのはやはり少々面倒だ。SIIは語頭を指定するだけでよい。

日中辞典と中日辞典の合わせ技の例

実際に授業で電子辞書を使って小学館の『日中辞典』第二版で「テスト」という単語を引き、さらにそこで見つけた訳語を小学館の『中日辞典』第二版で引き直すということをやってみせたことがある。日中辞典では「テスト」の訳語として「試験、测验、考试、检验」といった単語が出てくる。期末試験に代表される学校の定期テストのテストはどの単語を使えばいいのか。日中辞典の用例からもそれを知ることができるのだが、中日辞典で引き直すと「試験一種新方法」「测验性能」「我们昨天就考试了」「检验有没有毛病」といった、よりはつきり意味の違いを感じさせる用例に接することができ、「考试」を使うべきことが容易に理解できる。日中辞典の用例では「期末テストを受ける」という場合の「受ける」をどう訳すのかということ

はわからないが、中日辞典の「考試」の用例「参加入学考試」から「参加」を使うべきであることがわかる。また「考試」の量詞についても知ることができ、中日辞典で「試験」を引くと、「現在は学校などの試験は含まない」という注記を見ることができ、日本語の「試験」を単純に「試験」と簡体字にするだけではダメなのだということもわかる。こういったことを紙の辞書でやろうとするとなかなかたいへんで、ページをあちこちめぐるうちに学生はうんざりしてしまうものだが、電子辞書のジャンプ機能を使えば簡単にできるのだ。

四 例文検索

見出し語だけでなく例文を検索できるのが電子辞書のありがたいところである。キヤノンとSIIが中国語の例文検索に対応している。カシオとシャープは対応していない。特にカシオの『現代漢語大辞典』はすべての例文ではないものの、現代中国語の辞書にしては珍しく例文の出現を明記しているので、ぜひ例文検索に対応して欲しい。

例文検索で例文を読むことの旨味を知る

辞書は訳語だけ読んでいてはダメだ、例文を読めと教員は口を酸っぱくして言うものだが、なかなか学生には聞いてもらえない。例文を読めばいったいどんな良いことがあるのか、身をもって体験しないと教員の言葉は単なるお説

教にしか聞かえないのであろう。そこで、電子辞書の例文検索を使って例文を読むことの旨味を感じてもらおうという試みをしたことがある。ある学生が中級の授業で「疼得直哭」の「直」にお手上げになってしまった。「直」を引くと一〇個程度の意義項目が出てくる。もちろんそれらを一一つ例文も含めて読んでいけばよいのだが、学生は途方に暮れた顔をしている。そこで、例文検索で「直&哭」を検索してみた。SIIに収録されている小学館の『中日辞典』第二版では「疼得直哭」そのものが出てくるし、キヤノンに収録されている『講談社中日辞典』第二版では「想家想得直哭」が出てくる。また、「疼&得」で引けば、「疼得厉害」「疼得火辣辣的」「疼得叫了起来」といったような痛さの程度の表現や、痛さのあまりどうなったのかという表現のバリエーションを見ることがもできる。

六 電子辞書を引く楽しみ

——複数辞書検索——

一つの単語でもって複数の辞書を串刺し検索する方法である。英語辞書ではどの機種もできるが、中国語辞書に関しては機種によって対応が分かれる(表9)。中国語の複数辞書検索に関して言えば、一番充実しているのはキヤノンである。

表9 複数辞書検索機能

	見出し語	例文
カシオ	中国語（拼音・漢字）による検索は不可。	中国語（拼音・漢字）による検索は不可。
キヤノン	中国語（拼音・漢字）で検索可能。 ワイルドカード検索も可能。	中国語（漢字）で検索可能。 複数単語による and 検索可能、ただし出現順は考慮しない。
シャープ	中国語（拼音・漢字）で検索可能。 中国語はワイルドカード検索不可。	中国語（拼音・漢字）による検索は不可。
SII	中国語（漢字）で検索可能。 ワイルドカード検索も可能。	中国語（漢字）で検索可能。 複数単語による and 検索可能、ただし出現順は考慮しない。

表10 「おいしい」の見出し語検索・訳語検索結果

小学館 日中辞典 第2版の 見出し語検索	《味が良い》好吃, 好喝, 可口, 味道鲜美, 味美, [空気などが] 清新 《非常に都合が良い》对口, 合乎, 合适
講談社 日中辞典の 見出し語検索	[味が] 好吃, 香, 味道好, 好喝 [利益のある] 有利益, 有利润, 有甜头
中日大辞典 増訂第2版の 訳語検索	肥甘, 甘美, 甘味, 好吃, 好喝, 可口, 美味, 受喝, 甜美, 鲜, 香甜, 有味儿

(一) 会話集はおまけ? —— 会話集も複数辞

書検索の対象にすべき

複数辞書検索ができることは電子辞書の大きな特長であるが、現状では会話集はその対象にならないことが多い。電子辞書のコンテンツ数はアピールポイントで新機種が出るたびに増えていく傾向がある。数十にも及ぶコンテンツのすべてをユーザーが把握し、それを一つずつ呼び出して検索するというのはもはや現実的ではなくなっており、キーボードにボタンがなくメニューからたどつていかなければならないコンテンツは死蔵される可能性が高い。辞書であるか会話集であるかといったコンテンツの種類に関わらず、とにかく一つの単語を入れれば、その電子辞書に入っているデータは全部検索できる、真の意味での複数辞書検索が必要である。

(二) 日本語の訳語による複数辞書検索が欲しい

中国語の複数辞書検索に関しては対応が分かるが、日本語による見出し語の複数辞書検索はさすがにどの電子辞書もできる。もう一歩進

んで、中日辞典の日本語の訳語まで検索してくれないだろうか。キャノンに搭載されている『中日大辞典』は訳語検索が可能である。同じ日本語の単語でも、日中辞典の見出し語検索と中日辞典の訳語検索では、出てくる中国語が違うのだ。例えば「おいしい」を例に取ってみると表10のようになる。この機能が小学館『中日辞典』や『講談社中日辞典』でも実現されて、複数辞書検索で一気に検索できれば、また違ったおもしろい結果が出るだろう。

さらに言えば、中日辞典の中国語例文の日本語訳と日中辞典の日本語例文を、日本語の複数の単語で AND 検索できればありがたい。これは日本語話者が辞書を引き引き中国語を書くときにまねできそうな例文を、日中辞典の見出し語からだけでなく、電子辞書に収められたすべての辞書の中国語例文から、日本語を使って検索することを可能にするからだ。日本語の例文を検索すると、日本語には活用があるのでいささか面倒ではあるが、活用にはルールがある以上、例えば「書く」と入力すれば、その活用形も含めてすべて例文の中から検索することは技術的には可能ではないか。

七 複数辞書検索と例文検索で遊ぶ

(一) 『現代漢語詞典』には「好吃」という見出し語がない？！

各機種の複数辞書検索機能を検証するために、何の気なしに「好吃」という単語を使って検索していた。キャノンで検索したときに気づいた。『現代漢語詞典』には「好吃」という見出し語がない！まさかこんな基本的な単語がないなんて最初は思わずキャノンの検索機能の不具合を疑ったが、紙の辞書に当たってみると確かにそうなっている。「好吃」は「好」の意義項目2の「用在动词前，表示使人满意的性质在哪方面」の例として出てくる。見出し語を詳しく見ていくと、「好吃」の同類である「好看」「好听」は意義項目2の例として挙がっている以外に見出し語としても採用されている。一見すると一貫性がないように思うが、「好看」「好听」には単に見てきれいな心地よいという意味以外に、「好看」には「脸上有光彩；体面」「使人难堪叫做要人的好看」；「好听」には「（言语）使人满意」といった意味が定義されている。つまり「好吃」には単に食べておいしいという意味しかないため見出し語に立てなかつたと考えられる。『現代漢語詞典』は中国語母語話者のための辞典であるからこれはこれで筋

が通った処理の仕方であるが、中国語を母語としない人のための辞書ではそうはいかない。実際今回取り上げた各機種に搭載されている中日辞典、中英辞典はすべて「好看」「好听」と並んで「好吃」を見出し語として収録している。この話は辞書や語彙を専門に研究する方にとっては周知の事実であろうが、私は電子辞書の複数辞書検索を使用する過程でこんな基本的な単語でも辞書編纂のスタイルの違いが出ることに気づいたので。こういう気づきは学生が複数辞書検索を使う過程においても期待される。学生に辞書を引き比べることに意義を感じてもらえるのではない。

(二) 「好吃」の例文に見る辞書の個性

複数辞書の見出し語検索で「好吃」のおもしろさに気づいたので、次は複数辞書の例文検索で「好吃」を検索してみた。すると辞書の個性らしきものが見えてくる(表11)。使用したのはキヤノンとSIIである。

(1) 講談社——安くておいしい

『講談社中日辞典』第2版では一三個の例文が検索されてくるが、うち二つは「安くておいしい」という例文である(表11の波線部の例文)。「安くておいしい」というタイプの例文は他の中日辞典には出てこない。日中辞典の中国語例文を調べてみると、講談社の『日中辞典』の方には

表11 “好吃”の例文検索結果

小学館 中日辞典 第2版	講談社 中日辞典 第2版
你做了这么多好吃的菜，真不好意思。	不好吃。
良萝卜不好吃。	这个菜顶好吃。
这菜挺好吃。	这个菜真好吃。
这个菜真好吃。	做得不好吃，可惜了这么好的材料。
<u>把这个西瓜放到冰水里激一下就更好吃了。</u>	这菜辣乎乎的，很好吃。
这牛肉精瘦，不好吃。	<u>这个餐厅的菜既好吃又便宜，另外服务态度也好。</u>
<u>菜里放上点儿辣子，辣酥酥的挺好吃。</u>	这红薯面糊，很好吃。
<u>猪肝烧老了就不好吃了。</u>	亲口尝尝就知道好吃不好吃了。
这儿的橘子很有名，其实这儿的梨也非常好吃。	煮玉米甜不唧儿的，很好吃。
起头我不爱吃西红柿，后来就渐渐觉得好吃了。	这个菜甜丝丝儿的，很好吃。
先尝一口，然后再说好吃不好吃。	现炸的春卷好吃。
<u>稍微放点儿糖就好吃了。</u>	<u>这家馆子的菜又便宜又好吃。</u>
<u>少放盐，太咸不好吃。</u>	老说北京烤鸭怎么样怎么样好吃，真想亲口尝尝。
这萝卜受冻了不好吃。	这个菜真(特)好吃。
他说太甜了，不好吃。	
这葡萄酸不唧儿的挺好吃。	
这五香豆咸津津的真好吃。	

现做的烧饼好吃。
今天没有什么好吃的，只是一点小意思。
这个菜呀，特别好吃！
他一边儿咂嘴，一边儿不住地说：“真好吃，真好吃！”
她做的菜很好吃。
今天做的都是好吃的。

『現代漢語詞典』第4版2002年增補本

再好吃的吃多了也倒胃口
艮萝卜不好吃。
不好吃。
大米粥里头加点儿白薯又黏糊又好吃。
稍微放点糖就好吃了。
这种菜甜丝丝儿的，很好吃。
这种瓜好吃着呢。
这东西真正好吃。

『中国語文法用例辞典』(『現代漢語八百詞』增訂本)

他只要能吃饱，不在乎好吃不好吃。
这种桃子味道还错得了？肯定好吃。
橘子皮儿还是绿的，当然不好吃。
少放盐，太咸不好吃。
今天做的都是好吃的。
他说太甜了，不好吃。
这些好吃的东西都是特地为你准备的。
这孩子一看有那么好吃的，伸出手来就抓。

『中日大辞典』增訂第2版

这粥里糖太多了，奥不腾地不好吃。
你看越是疤痢流星的越好吃。
把萝卜用凉水拔一拔，更好吃。
把这西瓜系在井里拔一拔，拔凉了就好吃了。
菜里酱油放少了，白不毗咧的，不好吃。
今天饭煮得硬棒的，真不好吃。
还得先煸再炒，这样炒出来的菜好吃。
菠菜很馋肉，少了不好吃。
花生潮了不好吃。
今天有什么好吃儿。
春笋脆嫩得真好吃。
这种点心就是脆生生的好吃，一受潮气就要减滋味了。
嚼在嘴里嘎进儿脆真好吃。
这个馒头干了不好吃。
要是不浇卤，干抓儿怎么能好吃呢。
好吃的东西
这种麻花儿焦脆好吃。
这样做出来的烧饼焦黄，又好吃，又好看。
烤饼之中再没有比吊炉烧饼好吃的了。
烤桶里烤出来的吃食，香味儿都在里头，比露天烤的好吃得多。
好吃难克化。
橄榄苦阴阴儿的很好吃。

南瓜煮烂糊了才好吃。
菠菜老了不好吃。
炒得太老了不好吃。
这馒头凉了不好吃，馊一馊吧。
这个苹果太面了，不好吃。
酵酸好吃。
这个西瓜啦啦啦啦的，大概不好吃。
这饭是在锅里糗熟的，不好吃。
这西瓜晒得热刺呼啦的不好吃。
菜热着哪，正好吃。
这西瓜沙沙棱棱地很好吃。
炖牛肉，肥的瘦的都好吃。
酸不哪儿的味儿，很好吃。
只要把握到一切都无聊——无聊地啼笑，无聊地一问一答，无聊地露出牙来，无聊地眨巴眼睛，无聊地说地球是圆的，或烧饼是热的好吃……
——才能一见如故的，把一个初次见面的友人看成自己的亲手足一般。
没什么好吃的菜下饭。
咸不滋儿的好吃。
菜里星星点点搁点儿香油，也不好吃了。
你别择尖儿，只剩下不好吃的，人家就不愿意呀。
吃着好吃。

「好吃」を含む例文が五五個あり、うち四つが「安くておいしい」タイプである。ちなみに小学館の『日中辞典』第二版では八五個の例文があり、うち二つが「安くておいしい」タイプである。講談社の『中日辞典』『日中辞典』はどうやら「安くておいしい」ことにこだわりがあるようだ。

(2) 中日大辞典——こうしたらおいしい。おいしいくない
『中日大辞典』増訂第二版の「好吃」を含む例文の中で目につくのが、「南瓜煮烂糊了才好吃」といったような「こうしたらおいしくなる」あるいは「こうしたからおいしい」という例文、またその逆の「炒得太老了不好吃」のような「こうしたらおいしくない」あるいは「こうしたからおいしくなくなった」といった味の調製に関する例文である（表中では□で囲ってある）。湿気ってしまうなどの時間の経過に伴ってまづくなるような例文を除き、なんらかの人為的な操作を加えた結果としておいしい、おいしくないとなる例文は、全例文四一個のうち一五個を占める。小学館『中日辞典』、『現代漢語詞典』、『中国語文法用例辞典』（『現代漢語八百詞』増訂本）にもこのタイプの例文はあるが、『中日大辞典』の比率が一番高い。辞書の例文は編者による取捨選択を経ているため生の言語材料と同等に考えることはできないが、この味の調製タイプの例文は「好吃」の例文の一典型である可能性を感じさせる。

八 モバイルラーニング端末としての電子辞書

近年の傾向として電子辞書は辞書を引くだけでなく、「電子辞書で学ぶ」という方向に進みつつある。すなわち、いつでもどこでも持ち歩いて学習するためのモバイルラーニング端末としての側面を打ち出してきているのだ。

(一) 音声を聞きながら学習する

キヤノンの『中国語会話パーフェクトブック』は「聞く（オーディオブック）」というモードを持つっており、音声を自動再生しながら当該箇所のテキストが反転表示される。

シャープの『ゼロから簡単中国語 場面別スキット』は「字幕リスニング」を謳っており、音声を自動再生しながら当該テキストを反転表示していく。音声の速度は五段階で調節できる。

(二) 中国語学習用のドリル

(1) カシオ——見るだけのドリル

カシオの「ピンイントレーナー」は拼音の正誤、単語の拼音表記、同音字等を問うたりするものだが、ユーザーが解答を入力したり電子辞書が解答の正誤を判定したりする

機能がない、単に見るだけのドリル集で、電子辞書のドリルとしては物足りない。

(2) キヤノン——辞書や会話集の音声データを活用、簡体字を手書き入力して解答

キヤノンの「ディクテーション・単語」「ディクテーション・例文」は音声を聞いて拼音や簡体字で書き取るものである。拼音については単語も例文も声調なしの解答である。声調は中国語の大きな特徴であり、やはり声調は入力させて欲しい。

単語は『講談社中日辞典』第二版の最重要語と重要語の音声、例文は『中国語会話パーフェクトブック』の音声を使用している。答えの正誤判定が終わった後にキーボード上の関連ボタンか画面上の関連アイコンをタップすると、出題された単語や例文の辞書や会話集の本文が表示され、問題に使われた単語や例文を復習することができる。

(3) SII——辞書の音声データを活用

SIIの「中国語リスニングテスト」は音声を聞いて拼音を入力するもので、音声は小学館『中日辞典』第二版のものを使用している。拼音は声調符号付きで解答する。惜しむらくは辞書に付されている重要度のレベルを使って出題範囲を指定することができないことだ。それゆえ初級レベルの学習者がまず接することがない字や単語も出題されてしまうことがある。

正誤判定が終わった後、正解の拼音とともに簡体字が表示され、ジャンプキー↓決定キーを押すことによって辞書本文を表示させることができ、問題に使われた字や単語を復習することができる。

(三) 手書きの単語カード（暗記カード）

カシオに搭載されている機能である。紙の単語カードを模っていて、辞書を参照しながら手書きで単語カードを作る。英語についてはカードに辞書の音声をつけることも可能だ。中国語も音声がつけられればよかったのだが。辞書の単語を単語帳に登録する機能はどの機種にもあるが、これは学習者が自ら手書きで単語カードを作るところがむしろいい。

九 パソコンとの連携を深める電子辞書

近年の電子辞書はパソコンと連携して使用する機能を充実させてきている。以下で紹介する機能は電子辞書をパソコンにつないでデータを転送する。

(一) 音声プレーヤー

全機種ともに、教科書付属CD等をパソコンで変換して電子辞書に転送して聞くことができる。また、キヤノン・

シャープ・SIIは既存のMP3形式のファイルを取り込んで聞くこともできる。現在、ポッドキャスト（ダウンロードする形のインターネット放送）によって数多くの中国語音声はMP3形式で無料配布されているので、リスニング用の音声には事欠かない。カシオは専用ソフト（Windows用）を使用して変換と転送を行うため、既存のMP3は使えない。

(二) テキストファイルビューワ

任意のテキストファイルをパソコン経由で電子辞書に取り込んで読む機能である。例えばインターネット上にある文章をブレーンテキストファイルとして保存し、電子辞書に転送、辞書を引きながら読むことができる。すなわち、電子辞書を電子ブックとして利用できるのである。カシオ・キヤノン・SIIは中国語のテキストファイルの表示と辞書引きに対応しており、さらにカシオはTTSによる中国語の文章の読み上げにも対応している。シャープは中国語のテキストファイルには対応していない。

(三) テキストファイルと音声ファイルの関連づけ

SIIが持っている機能で、テキストファイルと音声ファイルに同じファイル名をつけ、一つのフォルダに入れておくと、テキストファイルを見ながら音声を呼び出すこ

とができる。ただし、逆に音声聞きながらテキストファイルを呼び出すことができないのは残念だ。

(四) 自作辞書、自作ドリル

SIIが持っている機能で、ユーザーがオリジナルの辞書やドリル（選択問題）を作って電子辞書に転送できる。いずれも中国語にも対応している。音声やモノクロ画像を辞書やドリルに添付することも可能である。Excelでデータを作成し、専用ソフト（Windows用）で変換した上で電子辞書に転送する。

学習者自身が辞書やドリルを作るとは考えにくいですが、教員が電子辞書で使える教材を自作できる道を開いたという点で注目される。

最後に——紙の辞書と電子辞書

学生が辞書を引かなくなった、あるいは引けなくなったという教員の嘆きを聞くようになって久しい。そもそも学生が辞書を買わなくなったという嘆きもよく聞くようになった。そんな中でも紙の辞書と価格が一桁違う電子辞書を授業中に引いている学生を見かけられるようになった。第二外国語の中国語の授業でも時折見かけるし、中文専攻の専門科目の履修者になると電子辞書所有者の方が多数派だっ

たりすることもある。中国語電子辞書といつても中国語辞書だけでなく英語辞書や国語辞書など多数の辞書を搭載しているため、それらの辞書を全部買うことを考えれば電子辞書の価格は許容範囲であり、また紙の辞書に比べればコンパクトで持ち運びやすく、単語の検索も容易であるからだろう。

本稿で取り上げた電子辞書はキーボードと液晶画面を備えた筐体を持つIC電子辞書と呼ばれるものである。上述のように各種種によつて機能やインターフェースが異なっているが、現在の形態である限り、一つ共通する欠点がある。それは液晶画面で一度に表示できる範囲が紙の辞書に比べると小さいため、どうしても一覧性において劣ることである。それゆえに紙の辞書なら引いた単語以外の部分も自然と目に入って勉強になるが、電子辞書を引くと訳語だけ見て終わりで例文を読まなくなるから電子辞書は禁止、紙の辞書を引きなさいという指導をする教員もいると聞く。また、辞書を買うお金を出す学生の保護者の中にも紙の辞書派 vs. 電子辞書派といった対立がある。しかし、私の経験では訳語だけ見て終わりの学生は紙の辞書でも同じように存在する。辞書からどれだけ有用な情報を引きだせるかということは訓練しないと身につかない能力である。ただやみくもに辞書を引きなさいと指示するだけではだめで、実際に教員が辞書を引いてそこから情報を取る様子を

見せてから、学生に辞書を引かせ、辞書を引くことよつて自分の知識が広がり能力が向上するということを実感させなければならぬ。それは紙の辞書でも電子辞書でも同じことである。

現実には紙の辞書より先に電子辞書を買う学生が出現してきている。紙の辞書には紙の辞書のよいところもあるが(私自身も紙の辞書と電子辞書の両方を使っている)、電子辞書という文明の利器をかたく拒否するよりは、電子辞書の持つ特徴を生かしてその有効利用を考えた方がよいというのが私の基本的な考え方である。

すでに電子辞書をお持ちの方にとつては拙文が電子辞書の機能を十分に活用するための助けとなり、これから購入してみようかと思われる方にとつては機種選定の参考となれば幸いである。

注

① 例えば、S I I はパソコンにソフトウェア (Windows 用) をインストールすると、パソコンから電子辞書を引ける。三百字までという字数制限はあるが、辞書の本文をパソコン上のワープロソフトの書類にコピー&ペーストすることも可能だ。

② ポッドキャストについて詳しくは拙稿を参照していた

だきたい。清原文代「ポッドキャストで中国語（漢字文献情報処理研究会編『漢字文献情報処理研究』第七号、好文出版、二〇〇六年、一〇〇—一〇一頁）、清原文代「Podcastによる多言語音声教材およびテキスト教材配信——大阪府立大学の事例を中心に」（吉田春世ほか編著『ICTを活用した外国語教育』東京電機大学出版局、二〇〇八年、二〇九—二二一頁）。

また、筆者は中国語ポッドキャストのリンク集も作成している。<http://qingyuan.sakura.ne.jp/wiki/>

〈3〉これは電子辞書が今の形態を取っている限りにおいてである。アメリカではAmazonが9.7インチ液晶を搭載する電子書籍リーダーKindle DXを発売したが、これくらいの大きさがあると一覧性は本とあまり変わらなくなってくるのではないか。

〈4〉朝日新聞の教育面の投書欄に数回にわたって紙の辞書派と電子辞書派の投稿が続き、それらをまとめた「紙の辞書？電子辞書？」という記事が出た（二〇〇九年七月一九日）。

〈5〉筆者のウェブサイトの中に、本稿で紹介した各機種の特徴に合わせた機種選定指南を書いたページがある。「中国語の電子辞書」<http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/chn-dic.html>